

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-18 名越クリーンセンター収集事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1169	名越クリーンセンター収集事業	
主管課	名越クリーンセンター		関連課	環境部内各課・管財課車両管理担当			
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	収集の効率化。可燃ごみの減量化。(生ごみの資源化及び循環資源の再利用、再生利用)						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
収集対象人口	103,495人	103,635人					
運営資源 状況	決算値	41,236千円	32,993千円				
	(国・県)						
	(負担金等)	14,700千円	6,300千円				
	(一般財源)	26,536千円	26,693千円				
	人員配置数	67.8人	69.8人				
	人件費	626,144千円	651,280千円				
	協働の パートナー	自治・町内会長 廃棄物減量化等推進員	自治・町内会長 廃棄物減量化等推進員				
事務事業 運営経費	総事業費	667,380千円	684,273千円	20年度	15,000.00t	15,144.06t	
	市民1人当 りの経費	3,778円	3,877円	21年度	15,000.00t	14,995.73t	
	対象者1人 当りの経費	6,448円	6,603円	22年度	15,000.00t		
				23年度	15,000.00t		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)					
	創意・工夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)					
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)					
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)					
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	退職者不補充による職員の減少や高齢者等への声かけふれあい収集を充実するためにも、収集業務の委託を拡大し安定した収集体制を確保していく必要がある。		評価結果	改善の必要性	今後も民間活力を生かし、収集体制の安定を図りながら「声かけふれあい収集」等、市民サービスの拡充に努めていく。	
B	有			B	有		
課長名	宮村 伸一			部名・部長名	環境部 相澤 千香子		